

第865回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成27年4月15日（水）午後1時30分から

場 所：県行政庁舎16階 教育委員会会議室

1 出席点呼

2 開会宣言

3 第863回、第864回教育委員会会議録の承認について

4 第865回教育委員会会議録署名委員の指名

5 教育長報告

- (1) 「東日本大震災における学校等の対応に関する再調査と『みやぎ学校安全基本指針』改訂を求める請願」への対応について (スポーツ健康課)

6 議 事

第1号議案 宮城県産業教育審議会委員の人事について (高校教育課)

第2号議案 高等学校入学者選抜審議会委員及び専門委員の人事について (高校教育課)

7 課長報告等

- (1) 宮城県教科用図書選定審議会への諮問について (義務教育課)
- (2) 平成27年度特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について (特別支援教育室)
- (3) 平成27年度宮城県公立高等学校入学者選抜に係る結果について (高校教育課)
- (4) 交通遺児等教育手当支給要領の改正について (スポーツ健康課)
- (5) 平成26年度宮城県小・中・高等学校体力運動能力調査結果について (スポーツ健康課)
- (6) 宮城県生涯学習審議会への諮問について (生涯学習課)

8 資料（配付のみ）

- (1) 教育庁関連情報一覧について (総務課)
- (2) 平成27年3月高等学校卒業者の就職内定状況について (高校教育課)
- (3) 平成29年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）大会愛称・スローガン・シンボルマーク・総合ポスター図案最優秀作品の決定について (全国高校総体推進室)
- (4) 宮城県美術館特別展「杉戸 洋」展の開催について (生涯学習課)
- (5) 東北歴史博物館特別展「医は仁術」の開催について (文化財保護課)

9 次回教育委員会の開催日程について

10 閉会宣言

宮教組発第94号
2015年3月27日

宮城県教育委員会

教育委員長 庄子晃子殿
教育長 高橋仁殿

請願者 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45
宮城県教職員組合 執行委員長 瀬成田 実



東日本大震災における学校等の対応に関する再調査と
『みやぎ学校安全基本指針』改訂を求める請願

【 請願の趣旨 】

東日本大震災から4年が過ぎましたが、津波被害の沿岸部は復興が遅れ、被災者の生活と生業の再建は困難を抱えたままです。他校の間借り教室や仮設校舎で不自由な教育活動を強いられている学校は15校にも上っています。親や兄弟、家族をなくした子ども、家を流された子ども、やむなく生まれ故郷を離れなければならなくなった子どもなど、多くの子どもたちが心に傷を負いながら、毎日、健気に学校生活を送っています。しかし、狭い仮設住宅などでの生活は、子どもたちがのびのびと遊び、落ち着いて学習できる環境になっていません。ストレスがたまり、ケアを必要とする状況が深刻化しています。

文部科学省は、業者に委託し、2012年1月に被災3県（岩手・宮城・福島）の幼稚園と小中高校、特別支援校を対象に『平成23年度東日本大震災における学校等の対応等に関する調査』[2012年3月に報告書発表]（以下『文科省調査報告書』）を行い、宮城県教育委員会は、文科省からその宮城県分のデータの提供を受け、『平成23年度東日本大震災における学校等の対応等に関する調査（宮城県分）』[2012年8月宮城県教育委員会]（以下『宮城県調査報告書』）をまとめ、それを基にして『みやぎ学校安全基本指針』（以下『安全基本指針』）を作成しました。

しかし、2つの『調査報告書』には、被害調査において重大な欠陥があり、今回の子どもと学校教育に関する大震災の特徴を正確に示していません。

それは、①「津波による被害状況」を「浸水が予想されていた学校」と「実際に津波が到達した学校」に絞ったために、「予想」も「浸水」もなかった学校の児童生徒の死亡・行方不明を調査していないこと、②死亡・行方不明者を「学校管理下や下校中」に絞ったために、学校管理下外（自宅や地域にいた）の児童生徒の死亡・行方不明者を調査していないことです。

また、文科省も県教委も「状況の傾向をつかめばよい」として、業者から各学校の調査回答票の提供は受けず、どの学校でどのような状況になりどう対応したのかを掴んでいないことが私たちの情報開示請求の結果明らかになりました。

そこで、私たち宮教組は、大震災で犠牲となった小中学生261名の状況を調査しました。その結果は、教職員の管理下での犠牲74名（大川小73名、戸倉中1名）、下校中の犠牲者60名、自宅・地域での犠牲127名、（下校中・帰宅・地域の犠牲者のうち保護者引き渡し後74名）でした。さらに高校生・特別支援校の犠牲者92名を加えると、下校中の犠牲61名、自宅・地域での犠牲218名になると考えられます。（詳細は、宮教組発行『子どもの「いのち」を守りぬくために』【第3集】参照）。つまり、今回の大災害を子どもの命を守る視点で大きく分類すれば、①大川小の災害 ②下校中の災害 ③自宅・地域での災害になります。



ところが、『宮城県調査報告書』を基にして作成された『みやぎ学校安全基本指針』（以下『基本指針』）は、これらの重大な欠陥を反映し、この3つの災害の具体的数値とその状況、事実を明示していません。そのうえ、『宮城県調査報告書』では、『文科省調査報告書』にあった大川小の事実が削除されています。『安全基本指針』で大川小の災害が出てくるのは、県教育長の「はじめに」で触れているのみです。宮城県教育委員会は、大川小の災害の事実とその問題点・教訓を、学校現場に明確に示していません。（現在、県教委のHPに大川小学校事故検証委員会による「大川小学校事故検証報告書」がリンクされているだけです。）

今回の宮城県の子どもの犠牲の特徴である大川小の災害と保護者への引き渡し後の犠牲、学校在校時以外での犠牲が多かった事実を客観的に示さないで、どうして3・11大震災の学校教育の「課題」「教訓」と言えるのでしょうか。

岩手県教育委員会は公表していますが、宮城県教育委員会は震災による学校ごとの児童生徒の犠牲者数も未だ公表していません。こうした状況が、宮城県における震災の学校被害と子どもの犠牲、その教訓を正しく認識する妨げになっているのです。

私たちは、宮城県教育委員会が、震災で犠牲となった子どもと教職員の「いのち」、その遺族の思いに正対し、改めて今回の大災害で犠牲となった児童生徒の状況を調査し公表すること、さらに調査結果と大川小の災害・教訓を明確にした『みやぎ学校安全基本指針』になるように、その改訂を強く求めるものです。

また、被害者の人数・数値だけでは、今回の震災を教職員・教育関係者が被害を想像し、自分の問題と受け止めさせる力にはなりません。犠牲となった子どもと教職員の具体的学校名と学年、氏名が必要です。いくつかの学校・地域では慰霊碑が建てられ、そこには犠牲となった子どもたちの学年と氏名が刻まれています。宮城県教育委員会は、遺族に了解を取り、犠牲となった子どもたちの学校、学年、氏名を公表し、『安全基本指針』などに掲載し、二度と繰り返さない決意を表明すべきです。

以上の趣旨から、宮城県教育委員会に対して、以下のことを請願するものです。

【 請願項目 】

- 1 学校ごとの犠牲となった児童・生徒数をHPなどに公表すること。
- 2 犠牲となった小中学生 261 名と高校・特別支援校 92 名の被災状況を調査し公表すること。
- 3 遺族の了解を得て、学校ごとの犠牲者の学年と氏名を公表すること。
- 4 2013 年 1 月 21 日宮城県議会文教警察委員会で示した「学校管理下の犠牲者数 76 名」は、誤りなので、訂正し、現在の認識を示すこと。
- 5 今回の震災で問題となった「学校管理下」の範囲について、特に保護者引き渡し後の「下校中」の災害についての考え方を整理し、改めて学校現場に示すこと。
- 6 震災直後の教職員に行った「兼務発令」について、実際の兼務について、その内容と期間、課題等について、兼務発令者に実態調査を行い、公表すること。
- 7 宮城県が発行した『東日本大震災—宮城県の6か月間の震災対応とその検証—』『東日本大震災（続編）』『東日本大震災—宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証—』の宮城県教育委員会に関する総括について、『兼務発令』や『宮城県調査報告書』などの部分に、事実と異なる総括と評価があるので見直し訂正すること。
- 8 『宮城県調査報告書』において、『文科省調査報告書』にあった大川小の災害の記述を削除した理由を経過も含めて明らかにすること。
- 9 以上のことを反映した『みやぎ学校安全基本指針』に改訂し、全教職員に配布すること。

宮城県教科用図書選定審議会への諮問について

【諮問案】

平成 27 年 4 月 日

宮城県教科用図書選定審議会委員長 殿

宮城県教育委員会

平成 28 年度使用教科用図書の採択について（諮問）

このことについて、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和 38 年法律第 182 号）第 11 条第 1 項及び第 13 条第 2 項の規定により、下記の事項について貴会の意見を求めます。

記

- 1 「教科書の採択に係る基本方針」の制定に関する事項
- 2 中学校において、平成 28 年度から使用する教科用図書の採択基準及び選定資料並びにその他指導助言等に関する事項
- 3 特別支援学校及び特別支援学級において、平成 28 年度に使用する教科用図書（学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）附則第 9 条の規定に基づく教科用図書）の採択基準及び選定資料並びにその他指導助言等に関する事項

教科書の採択に係る基本方針（案）

宮城県教育委員会

教科書は、教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材として全ての児童生徒が用いるものであり、教育上極めて重要な意義をもつことを踏まえ、下記の方針により、別に定める採択基準等に基づいて教科書の採択にあたるものとする。

記

- 1 教育基本法や学校教育法に示された教育の目標を踏まえるとともに、学習指導要領が掲げる「生きる力」をはぐくむという理念に沿った教科書を採択すること。
- 2 宮城県教育振興基本計画で示された「目指す姿」等を踏まえるとともに、各採択地区の自然や文化等の諸条件及び学校の特色や実態を考慮して、児童生徒に適した教科書を採択すること。
- 3 採択の手続き等は、法令等の趣旨や内容に基づいて適切に進めるとともに、教科書の十分な調査研究の結果を踏まえて、適正かつ公正に行うこと。
- 4 教科書の選定の過程においては、保護者等の意見が反映されるように配慮し、開かれた採択の推進に努めること。
- 5 各採択権者は、静ひつな採択環境の確保に努めるとともに、採択結果及び採択理由等を積極的に周知・公表するなど、透明性の一層の向上を図ること。

(案)

平成28年度使用教科用図書（中学校）採択基準

1 記述内容に関すること

- (1) 学習指導要領に示されている教科等の目標を的確に反映しているか。
- (2) 県教育委員会の「学校教育の方針と重点」の趣旨の実現に対応しているか。
- (3) 生徒の心身の発達段階を考慮し、学習意欲を高めるように工夫されているか。
- (4) 内容を精選して、学習内容の充実と発展を図ることができるように工夫されているか。
- (5) 内容や資料に偏りがなく、資料の出所、出典が明示されているか。

2 組織と配列に関すること

- (1) 内容が組織的、系統的に配列され、学習の効果があがるよう配慮されているか。
- (2) 教科等の目標を踏まえて、各章、各節のねらいが明確で内容のまとまりがあるか。
- (3) 基礎的・基本的な事項と発展的な事項が適切に配列されているか。
- (4) 内容の分量や区分が、各学校の年間指導計画に広く対応できるか。
- (5) 教材の配列が、生徒の生活や地域の実態に広く対応できるか。

3 学習と指導に関すること

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成及び主体的な学習態度の形成をすすめられるよう配慮がなされているか。
- (2) 生徒の経験や興味を大切にし、学習の動機付けや自主的な学習を促すよう配慮されているか。
- (3) 生徒の多様な能力や特性に広く対応できるか。
- (4) 他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されているか。
- (5) 学習の手引き、挿絵、図表、写真等は適切に配置されているか。

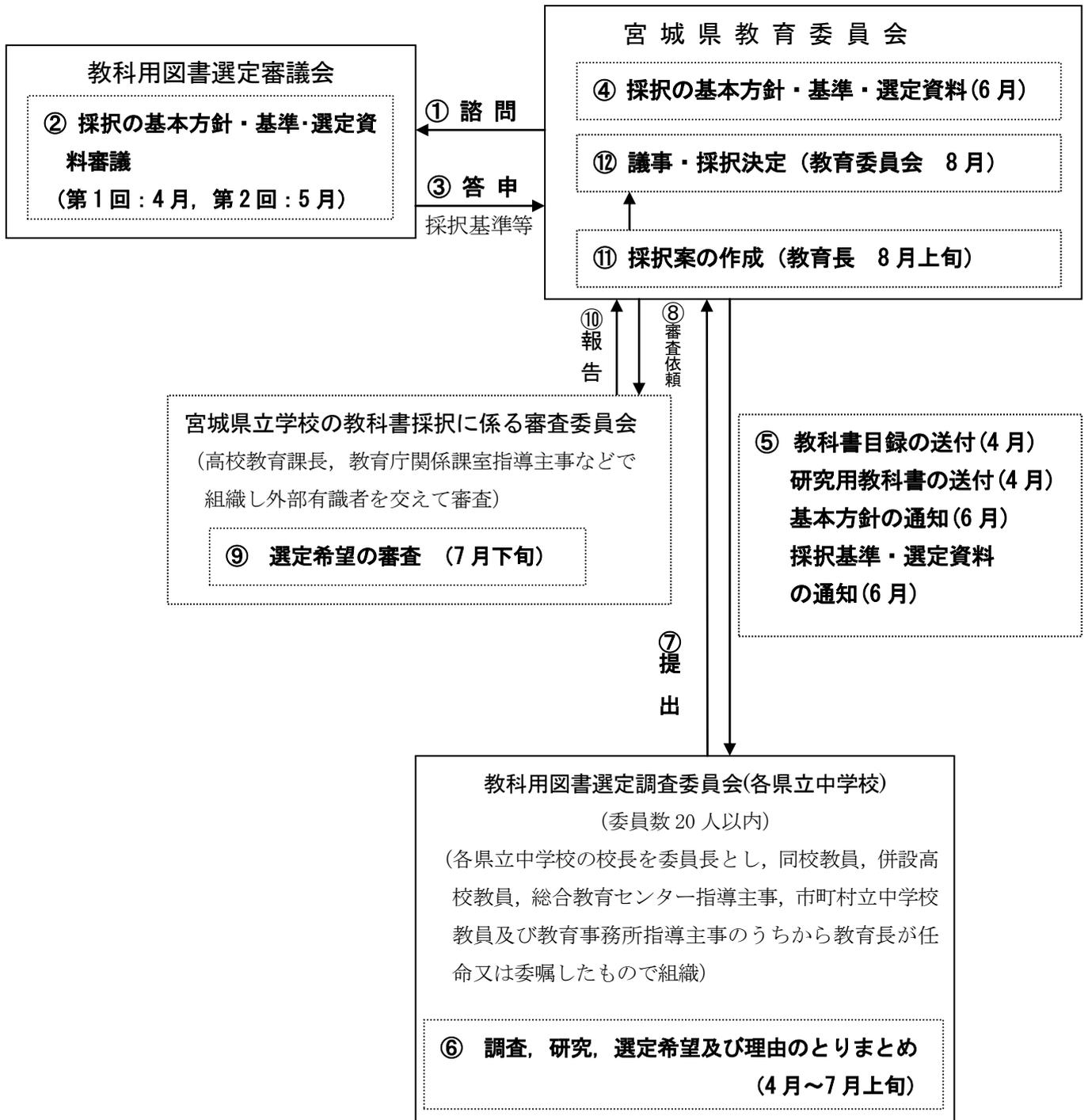
4 表現と体裁等に関すること

- (1) 表記、表現が学年に応じて適切であるか。
- (2) 生徒が親しみや魅力を感じるよう配慮されているか。
- (3) 活字の大きさや字体は適切で、色彩、印刷は鮮明で見やすいか。
- (4) 図表等の大きさや配置、レイアウトやバランスが適切であるか。
- (5) 製本は体裁がよく堅ろうであり、環境への配慮があるか。

平成 27 年度宮城県教科用図書採択事務日程（予定）

月 日	事 務 内 容	備 考
4月15日（水）	○教育委員会4月定例会 ・教科用図書審議会の諮問事項について	
4月23日（木）	○第1回教科用図書選定審議会 ・諮問事項に関する協議	
5月1日 5月8日 5月12～15日	○教科用図書選定審議会専門委員による専門事項の調査 ・中学校用図書，一般図書（特別支援学校・学級用）	県教育委員による教科書の調査研究
5月27日（水）	○第2回教科用図書選定審議会 ・諮問事項等に関する協議	
6月1日（月）	○答申	
6月3日（水）	○教科用図書採択事務担当者会議	
6月4日（木）	○採択基準，選定資料の市町村教育委員会，県立特別支援学校，採択地区協議会，私学文書課等への通知（県教委）	
6月上旬	○教科用図書採択事務説明会	
6月19日（金）～	○教科書展示会（県教委） ・各教科書センターにおいて14日間実施	
6月～8月	○専門事項の調査研究 ・採択地区協議会・専門委員会（市町村立中学校） ・教科用図書選定調査委員会（県立中学校） ・県立特別支援学校使用教科書採択検討会議（県立特別支援学校）	
7月～8月	○採択の決定 ・市町村教育委員会（市町村立中学校） ・県教育委員会（県立中学校） ・県教育長（県立特別支援学校）	
8月下旬	○各市町村教育委員会及び県立中学校，県立特別支援学校から報告された教科書需要数の集計（県教委）	
8月31日	○教科用図書選定審議会委員任期終了	
9月	○教科書需要数を文部科学省に報告（県教委）	

教科用図書採択の枠組み（県立中学校）



①③ 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律 第13条2項

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令 第9条 第2項

⑥ 県立中学校教科用図書選定調査委員会設置要綱 第2条

⑨ 宮城県立学校の教科書採択に係る審査委員会設置要綱 第2条

⑪⑫ 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律 第13条 第3項

平成27年度特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について

(H27.4.1現在)

《 高等部 》														
障害種別	学校名	学科	修業年限	募集定員	①第一次			②第二次			合計			備考 (二次募集実施状況)
					受検者数	合格者数	不合格者数	受検者数	合格者数	不合格者数	受検者数	合格者数	入学者数	
視覚	視覚支援学校	普通科	3	11	1	1	0	0	0	0	1	1	1	○
		保健医療科	3	8	1	1	0	0	0	0	1	1	1	○
		小計	—	19	2	2	0	0	0	0	2	2	2	
聴覚	聴覚支援学校	産業工芸科	3	8	6	6	0	0	0	0	6	6	6	○
		機械システム科	3	8	1	1	0	0	0	0	1	1	1	○
		被服科	3	8	3	3	0	0	0	0	3	3	3	○
		理容科	3	8	1	1	0	0	0	0	1	1	1	○
		小計	—	32	11	11	0	0	0	0	11	11	11	
肢体	船岡支援学校	普通科	3	20	9	9	0	0	0	0	9	9	9	○
病弱	西多賀支援学校	普通科	3	11	2	2	0	1	1	0	3	3	3	○
	山元支援学校	普通科	3	3	2	2	0	0	0	0	2	2	2	○
特別支援学校(視・聴・肢・病)小計			—	85	26	26	0	1	1	0	27	27	27	
知的障害	光明支援学校	普通科	3	60	61	61	0				61	61	61	
	石巻支援学校	普通科	3	46	30	30	0	3	3	0	33	33	33	○
	気仙沼支援学校	普通科	3	22	14	14	0	1	1	0	15	15	15	○
	名取支援学校	普通科	3	38	22	22	0	1	1	0	23	23	23	○
	角田支援学校	普通科	3	27	16	16	0	4	4	0	20	20	20	○
	迫支援学校	普通科	3	27	18	18	0	0	0	0	18	18	18	○
	金成支援学校	普通科	3	24	18	18	0	0	0	0	18	18	18	○
	古川支援学校	普通科	3	35	28	28	0	0	0	0	28	28	28	○
	山元支援学校	普通科	3	19	4	4	0	2	2	0	6	6	6	○
	利府支援学校	普通科	3	43	40	40	0	0	0	0	40	40	40	○
	小松島支援学校	普通科	3	32	32	32	0				32	32	32	
	岩沼高等学園	産業技術科	3	40	68	45	23				68	45	45	
小牛田高等学園	普通科	3	24	19	19	0	4	4	0	23	23	23	○	
特別支援学校(知的障害)小計			—	437	370	347	23	15	15	0	385	362	362	
合計			—	522	396	373	23	16	16	0	412	389	389	

《 専攻科 》														
障害種別	学校名	学科	修業年限	募集定員	①第一次			②第二次			合計			備考 (二次募集実施状況)
					受検者数	合格者数	不合格者数	受検者数	合格者数	不合格者数	受検者数	合格者数	入学者数	
視覚	視覚支援学校	理療科	3	8	4	3	1	0	0	0	4	3	3	○
		保健医療科	3	8	4	4	0	0	0	0	4	4	4	○
		小計	—	16	8	7	1	0	0	0	8	7	7	
聴覚	聴覚支援学校	産業工芸科	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
		機械システム科	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
		被服科	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
		理容科	2	8	1	1	0	0	0	0	1	1	1	○
		小計	—	32	1	1	0	0	0	0	1	1	1	
合計			—	48	9	8	1	0	0	0	9	8	8	

※不合格となった生徒については、いずれも次の進路が決定している。

平成27年度宮城県公立高等学校入学者選抜に係る結果について

1 総括

		全 日 制 課 程		定 時 制 課 程	
		平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度
中学校卒業予定者数(平成26年5月1日現在)		21,756	22,011	—	—
募 集 定 員 (a)		14,920	15,080	1,000	1,000
併設型中学校から併設型高等学校への入学 (b)		154	153		
前期選抜	募集人数	4,828	3,598	308	222
	出願者数	7,968	7,571	230	126
	出願倍率	1.65	2.10	0.75	0.57
	欠席者数	31	26	7	1
	受験者数	7,927	7,542	223	125
	受験倍率	1.64	2.10	0.72	0.56
	合格者数 (c)	4,627	3,429	163 (0)	102 (2)
連携型選抜	募集人数	142	142	(注) ()内数字は、社会人特別選抜合格者数で内数	
	出願者数	95	86		
	合格者数 (d)	92	79		
後期選抜	募集人数	10,047	11,419	837	898
	出願者数	12,228	13,771	340	346
	出願倍率	1.22	1.21	0.41	0.39
	特例措置出願	1	0	0	0
	欠席者数	190	159	11	11
	受験者数	12,039	13,612	329	335
	受験倍率	1.20	1.19	0.39	0.37
	合格者数 (e)	9,243	10,602	302	296
第二次募集	募集人数	809	823	535	602
	出願者数	243	206	112	124
	受験者数	243	202	109	121
	合格者数 (f)	212	164	93	99
全 合 格 者 数 (b+c+d+e+f)		14,328	14,427	558	497
充 足 率 (%) ((b+c+d+e+f)/a *100)		96.0	95.7	55.8	49.7

		通 信 制 課 程 (一 期)		通 信 制 課 程 (二 期)	
		平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度
入学者選抜	募集定員	450	450	50	50
	募集人数	450	450	426	387
	出願者数	74	113	9月受付	37
	受験者数	74	113	9月実施	37
	合格者数	74	113	9月実施	37

2 学科別出願者数・合格者数等

(1) 全日制課程

	学 科	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率			
1	普通	9,560	4,797	2,668	55.6	8,228	6,253	76.0	237	108	9,266
2	農業	720	482	274	56.8	498	392	78.7	—	14	680
3	工業	1,600	1,043	597	57.2	1,268	944	74.4	—	14	1,555
4	商業	1,200	596	421	70.6	840	636	75.7	9	33	1,099
5	水産	240	111	81	73.0	108	91	84.3	—	26	198
6	体育	120	174	84	48.3	60	36	60.0	—	—	120
7	英語	80	37	28	75.7	81	52	64.2	—	—	80
8	家庭	120	63	42	66.7	106	68	64.2	—	0	110
9	看護	40	19	12	63.2	43	28	65.1	—	—	40
10	理数	200	138	79	57.2	237	121	51.1	—	—	200
11	美術	40	71	20	28.2	37	20	54.1	—	—	40
12	総合	960	415	305	73.5	702	584	83.2	—	17	906
13	福祉	40	22	16	72.7	21	18	85.7	—	0	34
	計	14,920	7,968	4,627	58.1	12,229	9,243	75.6	246	212	14,328

※ 中高一貫教育進学者数は、連携型選抜合格者数と併設型中学校から併設型高校への進学者数を合わせたもの

(2) 定時制課程

	学 科	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率			
1	普通	760	201	143	71.1	306	274	89.5	—	80	497
2	工業	240	29	20	69.0	34	28	82.4	—	13	61
	計	1,000	230	163	70.9	340	302	88.8	—	93	558

3 地区別出願者数・合格者数等(全日制課程)

	地 区	募集定員	前期選抜			後期選抜			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者数
			出願者数	合格者数	合格率	出願者数	合格者数	合格率			
1	刈田・柴田	1,320	665	428	64.4	865	761	88.0	—	33	1,222
2	伊 具	280	102	72	70.6	199	188	94.5	—	7	267
	南部地区	1,600	767	500	65.2	1,064	949	89.2	—	40	1,489
3	亶理・名取	1,000	499	311	62.3	925	678	73.3	—	8	997
4	仙 台南	2,400	1,530	700	45.8	2,356	1,592	67.6	79	13	2,384
	中部南地区	3,400	2,029	1,011	49.8	3,281	2,270	69.2	79	21	3,381
5	仙 台北	2,920	1,670	904	54.1	3,083	2,017	65.4	—	—	2,921
6	塩 釜	1,160	762	364	47.8	1,126	797	70.8	—	—	1,161
7	黒 川	520	216	174	80.6	457	330	72.2	—	5	509
	中部北地区	4,600	2,648	1,442	54.5	4,666	3,144	67.4	—	5	4,591
8	大 崎	1,280	587	395	67.3	712	625	87.8	75	44	1,139
9	遠 田	440	229	144	62.9	300	254	84.7	—	26	424
10	登 米	600	318	203	63.8	366	344	94.0	—	5	552
11	栗 原	600	251	208	82.9	300	296	98.7	—	5	509
	北部地区	2,920	1,385	950	68.6	1,678	1,519	90.5	75	80	2,624
12	石 巻	1,640	959	582	60.7	1,105	948	85.8	—	52	1,582
13	本 吉	760	180	142	78.9	435	413	94.9	92	14	661
	東部地区	2,400	1,139	724	63.6	1,540	1,361	88.4	92	66	2,243
	総 計	14,920	7,968	4,627	58.1	12,229	9,243	75.6	246	212	14,328

4 学力検査の結果

(1)前期選抜

教科別得点・総点の平均及び最高等

(満点は各教科とも100点)

	項目/教科等	国 語	数 学	英 語	総 点
全 日 制	平 均	69.7	52.0	65.2	186.9
	最 高	100	100	100	291
	最 低	7	0	2	23
	前年度平均	69.9	56.3	62.5	188.7
定 時 制	平 均	42.0	16.2	25.9	84.1
	最 高	92	59	91	225
	最 低	11	0	3	28
	前年度平均	48.6	16.8	26.6	91.9

(2)後期選抜

教科別得点・総点の平均及び最高等

(満点は各教科とも100点)

	項目/教科等	国 語	数 学	社 会	英 語	理 科	総 点
全 日 制	平 均	60.0	54.5	65.1	68.7	59.2	307.6
	最 高	94	100	100	100	100	480
	最 低	0	0	6	6	4	53
	前年度平均	63.2	53.3	55.5	52.6	57.2	281.9
定 時 制	平 均	30.8	15.3	33.7	28.9	28.8	137.5
	最 高	76	61	73	79	62	322
	最 低	5	0	9	6	2	46
	前年度平均	37.2	14.1	23.4	22.1	24.2	121.3

5 東日本大震災に係る対応

入学者選抜手数料の免除申請者数(下段は出願者数に対する割合)

	前期選抜・ 連携型選抜	後期選抜	第二次募集	合計
平成27年度入試	1,413 (17.0%)	1,872 (14.9%)	68 (20.3%)	3,353 (15.8%)
平成26年度入試	1,376 (17.9%)	2,305 (16.3%)	16 (4.8%)	3,697 (16.7%)

6 学科別出願倍率

(1) 前期選抜(H24は推薦)

学 科	出願倍率			
	H27	H26	H25	H24
1 普通	1.75	2.43	2.66	1.22
2 農業	1.67	1.91	1.70	0.45
3 工業	1.73	1.70	1.91	0.89
4 商業	1.32	1.92	2.21	0.96
5 水産	1.16	1.46	2.02	0.51
6 体育	2.07	2.57	3.23	1.42
7 英語	1.32	3.33	3.54	1.09
8 家庭	1.31	2.06	2.03	0.92
9 看護	1.58	1.25	1.25	1.81
10 理数	1.73	1.57	2.80	1.00
11 美術	3.55	2.85	3.95	0.96
12 総合	1.18	1.00	1.33	0.60
13 福祉	1.38	—	—	—
全日制課程	1.65	2.10	2.35	1.05
定時制課程	0.75	0.57	0.81	0.08

(2) 後期選抜(H24は一般入試)

学 科	出願倍率			
	H27	H26	H25	H24
1 普通	1.24	1.27	1.19	1.26
2 農業	1.12	1.07	1.04	0.94
3 工業	1.26	1.07	1.19	1.15
4 商業	1.09	1.13	1.11	1.06
5 水産	0.68	1.04	1.02	0.97
6 体育	1.67	1.18	1.58	1.54
7 英語	1.56	1.71	1.63	1.22
8 家庭	1.36	1.26	1.34	1.06
9 看護	1.54	1.68	1.39	1.50
10 理数	1.96	1.09	1.66	1.29
11 美術	1.85	1.50	2.05	1.00
12 総合	1.07	0.99	1.10	1.12
13 福祉	0.88	—	—	—
全日制課程	1.22	1.21	1.19	1.23
定時制課程	0.41	0.39	0.42	0.49

7 地区別出願倍率(全日制課程)

(1) 前期選抜(H24は推薦)

地 区	出願倍率			
	H27	H26	H25	H24
南部地区	1.35	1.52	1.61	0.69
中部南地区	1.94	2.56	2.75	1.32
中部北地区	1.83	2.60	3.00	1.31
北部地区	1.39	1.55	1.76	0.73
東部地区	1.48	1.70	1.95	0.85
総 計	1.65	2.10	2.35	1.05

(2) 後期選抜(H24は一般入試)

地 区	出願倍率			
	H27	H26	H25	H24
南部地区	0.97	0.97	0.93	0.96
中部南地区	1.42	1.44	1.38	1.46
中部北地区	1.48	1.45	1.42	1.48
北部地区	0.89	0.91	0.92	0.97
東部地区	0.97	0.93	0.96	0.98
総 計	1.22	1.21	1.19	1.23

8 その他

(1) 高等学校入学者選抜審議会

第1回 7月開催予定

第2回 11月開催予定

(2) 平成27年度公立高等学校入学者学力検査の分析結果

6月下旬発行予定

交通遺児等教育手当支給要領の改正について

1 改正の主旨

交通遺児等教育手当は、交通事故若しくは海難事故により、その父母が死亡した児童生徒（小学生・中学生）の養育者に対して支給している手当である。

本制度に対しては、これまでも一般県民等から寄附金が寄せられていたが、平成26年度において、年間支給予定額を大きく上回る寄附金が寄せられたことから、この上回る寄附金について一時金として支給できることとしたもの。

2 改正の概要

(1) 現行（月額分）

- ・交通遺児等が1人の場合は月額3,000円、2人以上の場合は1人増える毎に月額1,000円を加算した額を支給している。
- ・年3回（7月、11月、3月）に分けて支給している。

(2) 改正後（今回追加した手当（一時金分））

- ・交通遺児等教育手当への寄附金額が、年間支給予定額を上回った場合、「上回った金額を交通遺児等の数で除して得た金額を、一時金として支給する。」こととした。
- ・3月に月額分支給分と合わせて支給することとした。（35,000円/人）
- ・支給対象者 当該年度の12月末までに認定された者（平成26年度対象者63名）

3 平成26年度手当支給額と寄附金額

	金 額	備 考
月 額 分 支 給 総 額	1,930,000円	交通遺児等が1人の場合は月額3千円 ※2人以上の場合は1人増える毎に月額千円を加算
一 時 金 支 給 総 額 (今回改正分)	2,205,000円	<u>35,000円/人</u> ×63人
寄 附 金 額	4,076,707円	H26年度寄附件数：9件

平成２６年度 宮城県小・中・高等学校 体力・運動能力調査結果について（概要）

- 1 調査対象** 宮城県内公立小・中・高等学校（全日制課程のみ）全学年男女児童生徒
2 調査時期 平成２６年５月～１０月中旬
3 調査方法 文部科学省「新体力テスト実施要項」に基づき９種目の測定データを収集

【測定種目】

握力（筋力） 上体起こし（筋力・筋持久力） 長座体前屈（柔軟性） 反復横とび（敏捷性）
 ２０ｍシャトルラン・持久走（全身持久力）※１ ５０ｍ走（走能力/スピード）
 立ち幅とび（跳能力/瞬発力） ソフトボール・ハンドボール投げ（投能力/巧緻性，瞬発力）※２
 ※１ 中・高校生は２０ｍシャトルラン，持久走のどちらかを選択して実施する。
 ※２ 小学生はソフトボール投げ，中・高校生はハンドボール投げを実施する。

4 調査結果の概要〔別冊「平成２６年度宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査報告書」参照〕

（１）校種別の平成２６年度と平成２２年度（震災前）の結果比較から【報告書 P1】

校種	低下種目の割合	維持種目の割合	向上種目の割合	概要
小学校	36.5% (37.5%)	35.4% (32.3%)	28.1% (30.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 向上種目の割合よりも低下種目の割合が高くなっている。 握力，ボール投げはほとんどの学年で低下している。 長座体前屈，立ち幅とびは多くの学年の男子で低下している。
中学校	31.5% (40.7%)	16.6% (29.7%)	51.9% (29.6%)	<ul style="list-style-type: none"> 低下種目の割合よりも向上種目の割合が高くなっている。 握力，ボール投げは全学年男女で低下している。 上体起こし，反復横とびは向上している学年が多い。
高等学校	16.7% (29.6%)	29.6% (38.8%)	53.7% (31.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 低下種目の割合よりも向上種目の割合が高くなっている。 握力，立ち幅とびは全学年男子で低下している。 反復横とび，５０ｍ走は全学年男女で向上している。

（２）校種別の平成２６年度と平成２５年度（前年）の結果比較から【報告書 P2】

校種	低下種目の割合	維持種目の割合	向上種目の割合	概要
小学校	11.5% (27.1%)	65.6% (39.6%)	22.9% (33.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 維持種目の割合が最も高くなっている。 ５０ｍ走，立ち幅とびは向上している学年が多い。 ボール投げは低下している学年が見られる。
中学校	14.8% (40.7%)	48.2% (42.6%)	37.0% (16.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 低下種目の割合よりも向上種目の割合が高くなっている。 ２０ｍシャトルラン，反復横とび，立ち幅とびは向上している学年が多い。 握力は全ての学年男子で低下している。
高等学校	16.7% (53.7%)	50.0% (37.0%)	33.3% (9.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 低下種目の割合よりも向上種目の割合が高くなっている。 ２０ｍシャトルラン，立ち幅とびは向上している学年が多い。 反復横とびは全ての学年男子で低下している。

(3) 中長期的結果比較から【報告書 P24】

	中期的結果比較概要	長期的結果比較概要（50m走で比較）
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・握力は、男女とも平成15年度以降低下している。 ・ボール投げは、男子で平成22年度以降低下し、女子は15年度以降低下が継続している。 ・上体起こし、反復横とび、20mシャトルランは男女とも平成19年度以降向上傾向が見られる 	昭和63年度をピークに平成12年度まで低下していたが、それ以降は低下に歯止めがかかり、向上傾向も窺われたものの、平成21年度以降再び低下傾向を示した。平成24年度以降は、その低下傾向に歯止めがかかりつつある。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・握力、ボール投げは、男女とも平成15年度以降低下している。 ・上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、50m走は、男女とも向上傾向が見られる。 ・長座体前屈は、女子で平成22年度以降向上している。 	平成12年度までは、上昇下降を繰り返しながらやや低下傾向にあったが、平成12年度以降向上傾向に転じた。
高等学校		中学校と同様に平成12年度までは、上昇下降を繰り返しながらやや低下傾向にあったが、平成15年度以降は向上傾向にある。女子は昭和63年度頃から中学女子よりも記録が低下している。

5 課題と懸案事項【報告書 P25】

(1) 見えてきた課題

- ① 小学校において、多くの項目が横ばい状態であり、向上傾向に至っていない。
- ② 「握力」及び「ボール投げ」において低下傾向が続いている。

(2) 懸案事項

- ① 震災の影響について、今後も児童生徒の体力の動向を注視していく。
- ② 長期的にみるとまだピーク時の水準に達していない。

6 平成27年度の取組【報告書 P26】

(1) 「体力・運動能力向上に関する講習会」の開催

体力・運動能力調査結果を踏まえ、体育の授業改善や課題となる種目について、具体的な指導法の講習や取組の情報交換を行うなど、各学校が課題解決に向けた取組を確実に進めるよう、年度当初の4月に県内2会場で各小学校悉皆研修として実施する。

(2) 「体力・運動能力向上出前研修会」の実施

各教育事務所等が主体となって、当研修会を設定し、体育授業改善に資する運動の紹介や「みやぎっ子！元気アップエクササイズ」等の指導を行うため、体力向上に係る指導教員を希望する学校に派遣する。

(3) なわ跳び広場の実施

運動機会創出の一助とするため、広く県内で希望する小学校を対象に、なわ跳び運動に楽しくチャレンジさせ、その結果をみやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業のホームページ上で取りまとめ、随時公表する。27年度は、長なわ跳びに加え、短なわ跳びを実施する。

(4) 「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査」報告様式（学校作成）の変更

（一校一取組の実践の推進）【新規】

各学校が、体力・運動能力向上に向けた取組を実践するよう、小学校において平成26年度までの報告様式を変更する。

(5) 「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査」報告書（県教委作成）の内容の充実

各学校が、体力・運動能力向上のための資料として活用できるように改善を図る。

宮城県生涯学習審議会への諮問について

1 諮問概要

（1）諮問事項

今後の宮城県の生涯学習推進について

（2）諮問理由

これまでの生涯学習の成果を活かした地域づくりや社会づくりに加え、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による環境の変化や震災から得た学びや気づきを活かした生涯学習のあり方などを踏まえ、今後の宮城県の生涯学習推進について諮問する。

（3）諮問した日

平成27年3月23日（月）

2 生涯学習に関する基本方針

平成 4年11月 宮城県生涯学習基本構想

平成 8年 3月 宮城県生涯学習振興計画（計画期間：平成8～12年度）

平成13年 3月 第2次宮城県生涯学習振興計画
（計画期間：平成13～17年度）

平成18年 3月 第3次宮城県生涯学習振興計画
（計画期間：平成18～22年度）

平成22年 3月 宮城県教育振興基本計画
（計画期間：平成22～31年度）

3 今後のスケジュール（予定）

平成27年 5月～ 宮城県生涯学習審議会における審議（7回開催予定）

- ・市町村等に対するアンケート調査の実施
- ・関係団体からの意見聴取，現地調査の実施
- ・パブリックコメントの実施

平成28年 5月 答申



生 第 916 号
平成27年 3月23日

宮城県生涯学習審議会会長 殿

宮城県教育委員会
教育長 高橋



今後の宮城県の生涯学習推進について（諮問）

このことについて、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（平成2年法律第71号）第10条第2項の規定により、別紙理由書を添えて諮問します。

別紙

理 由 書

本県では、平成4年11月に生涯学習に関する県行政の指針となる「宮城県生涯学習基本構想」を策定し、平成8年3月に「宮城県生涯学習振興計画」（計画期間：平成8年度～平成12年度）、平成13年3月に「第二次宮城県生涯学習振興計画」（計画期間：平成13年度～平成17年度）、平成18年3月に「第三次宮城県生涯学習振興計画」（計画期間：平成18年度～平成22年度）を策定し、生涯学習振興のための主要な施策を推進してきました。

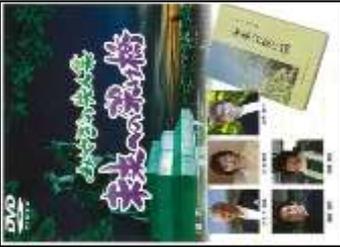
平成23年度以降は、平成22年3月に策定した「宮城県教育振興基本計画」の中で生涯学習についての施策の基本方向や重点的取組を位置付けし、その実施状況等について、有識者の意見等を踏まえ点検・評価を行い、その結果を公表してきました。

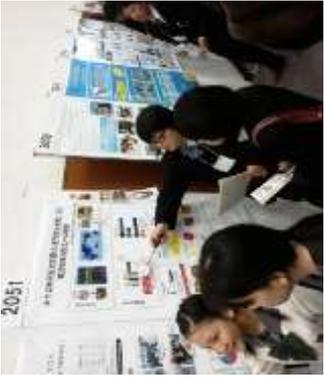
このような取組を推進する中、平成23年3月に発生した東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や人口減少の加速化、社会教育施設の機能停止など、人々の暮らしを取り巻く環境が大きく変容し、地域における生涯学習振興への道のりは厳しさを増すことになりました。

一方、公民館等での生涯学習活動によって紡がれてきた人と人との「つながり」が、震災後の復興に大きな力を発揮するなど、改めて生涯学習活動の果たす役割が注目されることとなりました。

本件は、これまでの生涯学習の成果を活かした地域づくりや社会づくり、また、震災から得た学びや気づきを活かした生涯学習のあり方などを踏まえ、今後の宮城県の生涯学習推進について、宮城県生涯学習審議会に諮問するものです。

教育庁関連情報一覧（平成27年3月17日～平成27年4月14日）

NO.	概要
1	<p>○本県ゆかりの著名人による「みやぎの先人集『未来への架け橋』朗読DVDが完成</p> <p>平成25年3月に発行した「みやぎの先人集『未来への架け橋』」について、当該先人集に収録されている話を、本県ゆかりの著名人による朗読によって映像化した朗読DVDが完成した。</p> <p>【概要】</p> <p>対象 主に小学校5，6年生</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先人集に収録されている先人26名分を収録 ・朗読者には以下の5人を起用 <ul style="list-style-type: none"> さとう宗幸（歌手・タレント），杜けあき（女優），山寺宏一（声優・俳優），茅根利安（舞台役者，伊達武将隊演技指導），荒井真澄（声優，ボイストレーナー） ・俳優による一部再現ドラマ，ゆかりの地，関連資料，書き起こしイラストの撮影を行い，1話10分程度で収録 <p>作成数 2，000部</p> <p>配布先 県内公立小・中学校（仙台市含む），高等学校，特別支援学校，各市町村教育委員会，公立図書館，公民館図書館，適応指導教室，その他教育関係団体等</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「YouTube＜宮城県インターネット広報資料室＞チャンネル」で全26話を視聴可能 ・宮城県内のレンタルビデオ店がオオ全店（26店舗）にて，無料レンタル実施（平成27年3月20日から13ヶ月間を予定） <p>（担当：義務教育課）</p>  
2	<p>○宮城県高等学校文化連盟日本音楽専門部が 杜の都信用金庫 県民ロビーコンサートに出演</p> <p>白石高等学校，宮城第一高等学校，塩釜高等学校，佐沼高等学校及び聖和学園高等学校の5校が加盟する宮城県高等学校文化連盟日本音楽専門部の皆さんが「杜の都信用金庫 県民ロビーコンサート」で「君をのせて」，「さらし風手事」などの楽曲の演奏を披露した。</p> <p>【概要】</p> <p>期日 平成27年3月25日（水）</p> <p>場所 県庁1階の県民ロビー</p> <p>その他 当該専門部は主に合同研修会や定期演奏会の活動を実施</p> <p>（担当：生涯学習課）</p> 

概要	
NO.	<p>○宮城県水産高等学校が「日本水産学会高校生発表」で金賞および銅賞を受賞</p> <p>県水産高等学校が、日本水産学会春季大会における「高校生による研究発表」において最高賞である「金賞」および第3位の「銅賞」を受賞した。</p> <p>【概要】</p> <p>開催日 平成27年3月29日（日）</p> <p>発表者数 32校53題</p> <p>受賞研究 ①金賞（4題） 「ホヤの利用拡大を通じた専門高校連携による被災地域活性化への取り組み」 研究発表者 調理研究部 阿部永遠（1年） 山本航大（3年）</p> <p>②銅賞（13題） 「万石浦（宮城県）で見られる魚類の東日本大震災前後の変化」 研究発表者 増殖研究部 渥美友揮（2年）</p> <p>（担当：高校教育課）</p> 
4	<p>○宮城県登米総合産業高等学校が開校</p> <p>登米地区の県立高等学校を再編・統合し、県内初の総合産業高等学校として「宮城県登米総合産業高等学校」が開校した。</p> <p>【概要】</p> <p>名称 宮城県登米総合産業高等学校</p> <p>住所 登米市中田町上沼字北桜場223-1</p> <p>開校日 平成27年4月1日</p> <p>開校式・入校式 平成27年4月8日（水）</p> <p>学科・生徒数 1年生：農業科(43)、機械科(41)、電気科(38)、情報技術科(40)、商業科(29)、福祉科(34) 計225人 2年生：普通科(55)、農業技術科(12)、園芸ビジネス科(15)、機械システム科(27)、電気システム科(17)、情報技術科(23) 計149人 3年生：普通科(46)、農業技術科(22)、園芸ビジネス科(11)、機械システム科(28)、電気システム科(31) 計161人 合計535人</p> <p>（担当：高校教育課）</p> 

概 要

○柴田高等学校ウエイトリフティング部が第30回全国高校ウエイトリフティング選抜大会で優勝

平成26年度第30回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会で優勝及び入賞された柴田高校ウエイトリフティング部の選手及び関係者が、その報告のため4月14日（火）に県を表敬訪問した。



【概要】

大会名 平成26年度第30回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

期 日 平成27年3月26日（木）から3月29日（日）まで

会 場 石川県 金沢市総合体育館

結 果 優勝 女子＋75kg級 栗野 稚佳子

第5位 男子 69kg級 島島 輝

(担当：スポーツ健康課)

NO.

5

平成27年3月高等学校卒業者の就職内定状況(3月末現在)について

	H26.3月末	H26.9月末	H26.10月末	H26.11月末	H26.12月末	H27.1月末	H27.2月末	H27.3月末	前年同月	増減 (当月-前年同月)
内定率	98.6%	43.0%	67.7%	83.2%	90.0%	94.1%	97.3%	98.9%	98.6%	0.3%
男子	98.9%	45.5%	69.6%	85.9%	92.0%	95.2%	98.1%	99.3%	98.9%	0.4%
女子	98.2%	39.7%	65.2%	79.6%	87.3%	92.5%	96.1%	98.3%	98.2%	0.1%
全国平均	96.6%	—	71.1%	—	88.8%	—				—

内訳

卒業者	19,869	20,019	19,988	19,967	19,957	19,945	19,932	19,917	19,869	48	
進学希望者	14,786	14,811	14,872	14,963	14,959	14,946	14,935	14,900	14,786	114	
臨時的仕事希望者	241	75	86	109	135	161	206	243	241	2	
進路未定者	61	136	98	83	86	83	51	44	61	-17	
就職希望者	4,781	4,996	4,931	4,808	4,777	4,755	4,740	4,730	4,781	-51	
内訳	県内	4,069	4,189	4,112	3,950	3,909	3,885	3,855	3,845	4,069	-224
	県外	712	807	819	858	868	870	885	885	712	173
	職安・学校紹介	4,041	4,109	4,148	4,167	4,163	4,136	4,125	4,098	4,041	57
	縁故・自营	371	192	215	214	213	235	248	265	371	-106
	公務員	369	695	568	427	401	384	367	367	369	-2
就職内定者	4,713	2,149	3,339	3,999	4,300	4,473	4,610	4,677	4,713	-36	
内訳	県内	4,006	1,622	2,640	3,215	3,478	3,625	3,736	3,798	4,006	-208
	県外	707	527	699	784	822	848	874	879	707	172
	職安・学校紹介	3,996	2,089	3,131	3,578	3,818	3,928	4,027	4,066	3,996	70
	縁故・自营	352	60	111	127	143	189	221	245	352	-107
	公務員	365	0	97	294	339	356	362	366	365	1
就職未内定者	68	2,833	1,592	809	477	282	130	53	68	-15	
月間受験者数	86	4,054	822	641	347	167	132	71	86	-15	

【概況】※()内は前年同月

- ① 就職内定率 : 98.9% (98.6%)
- ② 進路希望の割合状況 : 進学 74.8% (74.4%) 就職 23.7% (24.1%)
: 臨時的仕事 1.2% (1.2%) 未定 0.2% (0.3%)
- ③ 就職希望者の割合 : 県内 81.3% (85.1%) 県外 18.7% (14.9%)
- ④ 県内外の内定率 : 県内 98.8% (98.4%) 県外 99.3% (99.3%)
- ⑤ 内定者の割合 : 県内 81.2% (85.0%) 県外 18.8% (15.0%)
- ⑥ 学科別内定率

学科別内定率	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他	総合学科
平成26年度	98.5%	100.0%	99.4%	98.8%	100.0%	95.1%	100.0%	99.0%
平成25年度	97.6%	99.8%	99.9%	99.4%	100.0%	90.8%	100.0%	98.1%

⑦ 地域別内定状況

地域別内定率	仙台	大和	石巻	塩釜	古川	大河原	白石	築館	迫	気仙沼
平成26年度	98.6%	95.0%	98.1%	99.6%	99.5%	98.8%	99.6%	100.0%	99.6%	99.6%
平成25年度	99.5%	98.0%	97.9%	100.0%	97.3%	99.2%	98.6%	98.9%	100.0%	99.6%

⑧ 宮城労働局発表 県内求人倍率(2月末現在)(職安学校紹介のみ、ただし支援学校・通信制含む)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
県内求人数	6,331	4,279	4,107	5,393	6,978	7,965	9,394
県内求職者数	4,130	3,540	3,520	3,076	3,519	3,544	3,462
求人倍率	1.53	1.21	1.17	1.75	1.98	2.25	2.71

平成29年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）大会愛称・スローガン・シンボルマーク・総合ポスター図案最優秀作品の決定について

◇大会愛称

『はばたけ世界へ 南東北総体 2017』

製作者：千葉 穂乃香（宮城県岩ヶ崎高等学校 2年）

作意 インターハイに出場する選手の中から、2020年の東京オリンピックなど、世界にはばたく選手が数多く活躍する大会になってほしいという思いを込めました。

◇スローガン

『繋がる絆魅よる僕の若さ力』

製作者：安孫子 ゆい（山形県立寒河江高等学校 3年）

揮毫：吉川 実里（山形県立寒河江高等学校 2年）

作意 温かい支援を受け復興の歩みを進める東北で、選手の皆さんが全国の人との繋がりを感じながら、若さあふれる力を発揮し、多くの人を魅了する大会にしたいという思いを表現しました。

◇シンボルマーク



製作者：花鳥賊 裕介（山形県立山形工業高等学校 3年）

作意 南東北3県の県旗の色をもとに配色し、中心は花をイメージして、その周りは人と人との繋がりを表すことで、選手一人ひとりがそれぞれの花を咲かせ、多くの繋がりを生んでほしいという願いを込めました。

◇総合ポスター図案



製作者：角田 雪恵（福島県立会津高等学校 3年）

作意 輝く太陽に向かって高く遠くへ跳躍する姿に、勝利へと向かって躍進する選手一人ひとりの心情を込めました。

Hiroshi
Sugito
prime
and
foundation

杉戸 洋展
天上の下地



主催：
宮城県美術館
河北新報社
後援：
仙台市教育委員会
TBC東北放送
仙台放送
ミヤギテレビ
KHB東日本放送
Date fm
ラジオ3 FM76.2
協力：
ケンジタキギャラリー
小山登美夫ギャラリー

©Hiroshi Sugito

2015年5月2日(土) - 7月26日(日)

休館日：月曜日(ただし5月4日、7月20日は開館)/5月7日(木)/7月21日(火) | 開館時間：午前9時30分 - 午後5時(発券は午後4時30分まで)

観覧料：一般 1000(900)円/学生 800(700)円/小・中学生・高校生 400(300)円 | ●()内は20名以上の団体料金

宮城県美術館 The Miyagi Museum of Art | 980-0861 仙台市青葉区川内元支倉 34-1 | Tel: 022-221-2111 | <http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>

杉戸洋(1970-)の描く絵画は、繊細な色彩と親しみあるモチーフによって、純粋に絵を見る喜びを喚起させてくれます。

名古屋に生まれた杉戸は、愛知県立芸術大学に学んだのち、その実力を認められて内外の多くの展覧会で紹介され、今日、日本の現代絵画では欠かすことのできない存在となっています。

杉戸の絵画は、童画のような一面を持ちながらも、絵画がこれまで培ってきた豊かな色彩表現を継承しつつ刷新するもので、その表現は近年ますます洗練されてきています。豊富なイマジネーションを生み出す画面は、リズムカルに構成され、身体が覚える喜びも伝えてきます。

また杉戸は、これまで幾度となく東北の地を歩いてスケッチを重ね、宮沢賢治がイーハトーブと称した地域の風景も描いてきました。

本展は、作家本人が宮城県美術館に触発されて制作した新作の絵画や、他の代表作と特別なしつらえによって、当館の展示空間を新しく生まれかわらせるとともに、イーハトーブを描いた作品も紹介することで、ここでしか体感できない杉戸の「作品世界」を作り上げます。

[関連事業]

トークイベント「まずは下地から」

青木淳(建築家)×杉戸洋

5月17日(日) 14:00-/アート・ホール | ●入場無料

対談「ここから始めよう」

小林正人(画家)×杉戸洋

6月28日(日) 14:00-/アート・ホール | ●入場無料

担当学芸員による展示解説

5月10日(日)/6月7日(日)/7月20日(月・祝) 14:00-

2階展示室 | ●要観覧券

まちなか美術講座「杉戸洋、その絵画の魅力」

和田浩一(当館学芸員)

7月4日(土)13:30-

東北工業大学一番町ロビー 4階ホール

(仙台市青葉区一番町1-3-1 ニッセイ仙台ビル)

●入場無料

[観覧料]

	一般	学生	小・中学生・高校生
当日	1,000円	800円	400円
団体(20名以上)	900円	700円	300円
前売	800円	600円	200円

前売券販売所[発売は3月31日から5月1日まで]

チケットぴあ(Pコード 766-734) | ローソンチケット(Lコード 22501)

| セブンチケット <http://www.sej.co.jp/products/tickets/> | イー

プラス <http://eplus.jp/>

[今回の展覧会]

ヘレン・シャルフバック—魂のまなざし

8月6日(木) - 10月12日(月・祝)

宮城県美術館

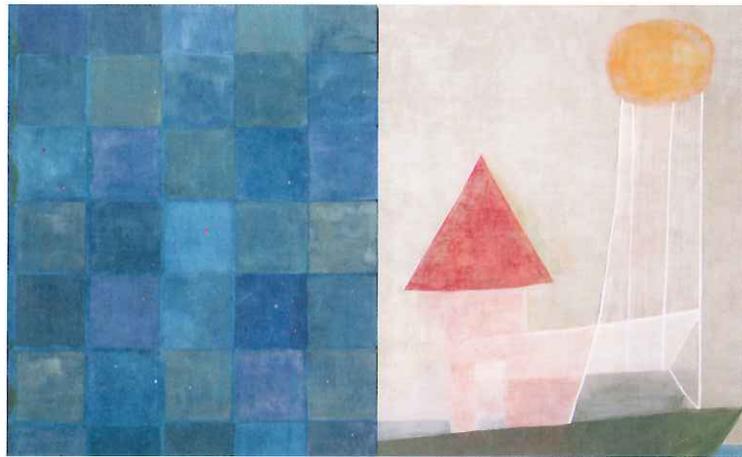
THE MIYAGI MUSEUM OF ART

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉 34-1

Tel: 022-221-2111 | <http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>

杉戸 洋展
天上の地下

Hiroshi Sugito
prime and foundation



©Hiroshi Sugito



1:《into the orange tree》

2012/紙、パネル、アクリル、顔料/Courtesy of KENJI TAKI GALLERY

2:《snake and bird》

2012/カンバス、アクリル、顔料/ヴァンジ彫刻庭園美術館蔵

Courtesy of The Vangi Sculpture Garden Museum/撮影: 岡野圭

3:《spider song》

2004/カンバス、アクリル、コラーージュ/ヴァンジ彫刻庭園美術館蔵

Courtesy of The Vangi Sculpture Garden Museum/撮影: 岡野圭

4:《flowers, elephant man》

1998/紙、パネル、アクリル、顔料、色鉛筆/Courtesy of KENJI TAKI GALLERY

5:《the green door》

2012/カンバス、油彩/個人蔵

6:《untitled》

2010/カンバス、油彩/齊藤篤史氏蔵/Courtesy of TOMIO KOYAMA GALLERY

バス利用の場合：A— 仙台駅西口バスプールにて仙台市営バス「交通公園行(広瀬通経由)」(16番乗場)に乗車、二高・宮城県美術館前下車。または「宮教大行」「動物公園循環」(9番乗場)に乗車、国際センター西下車、北方向へ徒歩8分。
B— 広瀬通一番町バス停(仙台フォーラス)から「交通公園行(広瀬通経由)」バスをご利用になれます。

るーぶる仙台バスの場合：二高・宮城県美術館前下車。

タクシー利用の場合：仙台駅から約10分

高速道路利用の場合：東北自動車道・仙台宮城I.C.より仙台方面(仙台西道路)に入り、仙台城跡方面を經由して美術館へ。仙台宮城I.C.より約15分。

周辺地図



江戸の医から、未来を眺める。

資料配付 (5)

「仁」とは“他を想う心”である。

仁術は

特別展



カルペッパー型
国産顕微鏡
(順天堂大学 蔵)

原洋遊齋海絵薬箱
(国立科学博物館 蔵)



エレキテル
(国立科学博物館 蔵)

華岡青洲

世界初となる全身麻酔による
乳ガン摘出手術を成功させた。

南紀青洲先生治療乳岩奇核之図 (国立科学博物館 蔵)



華岡流手術道具一式
(国立科学博物館 蔵)

杉田玄白らによって
3年の月日をかけて、翻訳
出版された西洋解剖書。

解体新書



(国立科学博物館 蔵)



体の仕組みが
わかる!



超リアル

ヒトiPS細胞 実物
固定標本 展示



3Dプリンター 体感
による臓器モデルを
触ってみよう!

養生

房事養生鑑 (国立科学博物館 蔵)
身体の働きを擬人化し、臓器の役割を紹介。

スペシャルナビゲーター

大沢たかお



鉄拳シアター

「受け継がれる仁」

オリジナルパラパラ漫画を上映

2015年 4月18日(土) - 6月21日(日) 東北歴史博物館

開館時間:午前9時30分-午後5時(発券は午後4時30分まで)

JR東北本線国府多賀城駅となり

休館日:毎週月曜日(5月4日は開館)

観覧料	一般・大学生	シルバー(65歳以上)	小中・高校生
	1,200円(1,000円)	1,000円(800円)	500円(300円)

※常設展もご覧いただけます。 ※()内は前売 ※各20名様以上の団体は当日料金の100円引き
※入場口で身分証明書(免許証・保険証等)をご提示いただく場合がございます。ご了承ください。

主催:東北歴史博物館 TBC東北放送 河北新報社

協賛:株式会社 ヨビタインテック 東日本メディカルシステム株式会社

後援:多賀城市 多賀城市教育委員会 多賀城市観光協会 多賀城・七ヶ浜商工会 宮城県医師会
宮城県歯科医師会 宮城県薬剤師会 宮城県看護協会 IBC岩手放送 テレビユー山形 テレビユー福島

協力:東北大学 順天堂大学 企画制作: 国立科学博物館 TBS

医の原点は江戸にあった!

新発見! 『杉田玄白の直筆の漢詩』『日本最古の解剖原図』世界初公開!

【第一章】

病は、いつの時代も、身分の貴賤なく、人々を襲う。

病は、貴賤富の別なく、人々を襲う。日本がまだ、医の知識も、医の技も未熟であった時代に、人々は病を恐れ、神に祈り、自然の成り行きに任せる他に、その苦しみから僅かにでも逃れるすべが無かった。健康と長寿を願う、季節や年の節目に祈り、子供の成長に感謝し、疫病にからぬよう、人々が行ってきたことは、今も日本各地に残る風習や物の中に、実に多く残されている。

【大宅太郎国妖怪退治之図】(国立科学博物館蔵)
歌川国芳画。天保7年に上演された歌舞伎の一場面。ガイコツ図は骨の数や前腕骨などが正確に描かれ、解体新書以降に一般にも広まった解剖図を参考にしたものであろう。



医は仁術 【第二章】

平和な江戸時代の中で、東西からもたらされた様々な医の知識と技術が、和魂漢才、和魂洋才の精神で学ばれ、活かされた。他を想いやる「仁」は、洋の東西を問わず、医の基本であるが、とくに日本では「和」を尊び、気配り、気遣い、思いやりが社会、文化の根幹としてあり、仁術としての医は、江戸時代において人々が安心して社会生活を営む基本的理念となったのである。

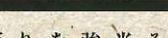
【新宮涼庭薬箱】(国立科学博物館蔵)

新宮涼庭は京都の蘭医。本薬箱にはオランダ語で「医は自然の奴隷なり」などとあり、西洋的医学観が見られる。



【薬看板 赤鬼・黒鬼】(国立科学博物館蔵)

薬屋の看板は、売薬が盛んになるに伴って、販売促進のため様々な形や意匠のものを作られた。



【生き人形】(国立科学博物館蔵)

「解体新書」等により人体内部の知識が一般に広まり、薬屋の看板や見世物用としてつくられたと考えられる。

【第四章】 近代医学と仁

明治政府は、明治9年にドイツ医学をモデルとして大学東校(現東京大学医学部)を設立し、西洋医学を中心とした医学教育を開始する。その責任者であった佐藤尚中は、基礎医学的要素の強いドイツ医学が臨床医学を重視していないこともあり、官職を辞して順天堂医院を設立し、臨床医療の実施に努めた。

【第二章】 東から西から 医術の伝来

日本における医は、東や西から伝えられた医術が江戸時代という平和な世のなかで融合し、他の国には見られない日本独自の発展を遂げたものである。「医は仁術」という理念は、「神農」や「ヒポクラテス」に示される如く、洋の東西を問わず変わらない。しかし、平和であったが故に、より彼我の国々に比べ、日本の「仁」は理念、理想としてだけでなく、実際に医師らにより人々に実践されたのである。



【依ト加刺得私之像(ヒポクラテス像)】(国立科学博物館蔵)
ヒポクラテスは古代ギリシャにおいて実証的な医療を行い、西洋で医聖と呼ばれた。大槻玄沢が「重訂解体新書」で紹介し、蘭学者の間で流行した。

【第五章】 現代の医

医の歴史は、人体を知る歴史でもあった。江戸時代の腑分けに始まり、解剖して人体の構造、病気を調べて来たが、現在は技術が発展し、内視鏡、C.T、MRIなど体を見ることができるようになった。第五章ではからだの仕組みが分かる映像や3Dプリンターによる臓器モデルで人体の構造を紹介する。また、最先端医学として関心の高い「多能性細胞」の中で、ヒトiPS細胞の実物(固定標本)を展示する。

記念講演会 & パネルディスカッション

東北歴史博物館・3階講堂(入場無料)

- 4月18日(土) 13:00~15:15
講演1「『医は仁術』展にみる日本の医」
鈴木 一義氏(国立科学博物館産業技術史資料情報センター長)
- 講演2「日本の医学と東北」
酒井 シヅ氏(順天堂大学特任教授)

- 5月9日(土) 13:30~14:45
「仙台藩医学校と蘭学」
吉田 忠氏(東北大学名誉教授)
- 5月31日(日) 13:30~15:00
「仙台藩の医者」
張 基善氏(芦東山記念館学芸調査員)

展示解説会 特別展示室

(特別展観覧チケットが必要です。)

●毎週水・土曜日(開幕日を除く) 13:30~ 担当:当館職員

観覧料	一般・大学生 1,200円(1,000円)	シルバー(65歳以上) 1,000円(800円)	小・中・高校生 500円(300円)
プレイガイド	※常設展もご覧いただけます。 ※()内は前売 ※各20名様以上の団体は当日料金の100円引き ※入場口で身分証明書(免許証・保険証等)をご呈示いただく場合がございます。ご了承ください。 2月6日(金)前売券販売開始 <販売は4月17日(金)まで> 東北歴史博物館、藤崎、仙台三越、エスバル、ローソンチケット(Lコード21383)、チケットぴあ(Pコード766-580)、イープラス http://eplus.jp、セブンチケット、イオン(多賀城・利府・仙台幸町・富谷・仙台中山・名取・石巻)の各店(2/12~)、日専連カウンターエル店、ニッセンレン・テラス セルバ店、TBCオンラインチケット、河北新報販売店(2/12~)		
東北歴史博物館	TEL 022-368-0106 〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1 E-mail: thm-service@pref.miyagi.jp		
	宮城展公式ホームページ TBC 医は仁術 検索		

